



フォトニュース

## 希望あふれる祭りの広場！

### 第43回 茅野どんぱん

8月4日、茅野市の市民祭、茅野どんぱんが、市役所通りなどを会場に行われました。昼の部では、ジョブタウン、消防まつり、郷土芸能ステージ、神輿、長持ちなどの催しで賑わいました。また今回初めて会場に加わった「ゆいわーく茅野」では、市民団体の活動発表や移動式プラネタリウムが人気を博していました。夜の踊りの部には66連約2500人が参加し、汗をかきながら、息の合った踊りを披露していました。踊りコンテストは子どもの部で「Gyda,Z」連が3連覇し、大人の部は「総合スポーツクラブAFASスワ南」連が2年ぶりに受賞しました。



## アルピニスト 野口健さんを任命

### 茅野市縄文ふるさと大使 委嘱式

7月26日、茅野市出身または茅野市にゆかりのある著名な方に、茅野市の魅力などを広くPRしていただく「茅野市縄文ふるさと大使」をアルピニストの野口健さんに委嘱しました。野口さんにとって八ヶ岳は人生初登山の地。これまでに300回近く訪れ、今でも年間15回程度は訪れています。「自然と触れ合い、自然の素晴らしさを知ってもらう取り組みを八ヶ岳で実現したい」と語りました。

## 姉妹都市を訪問

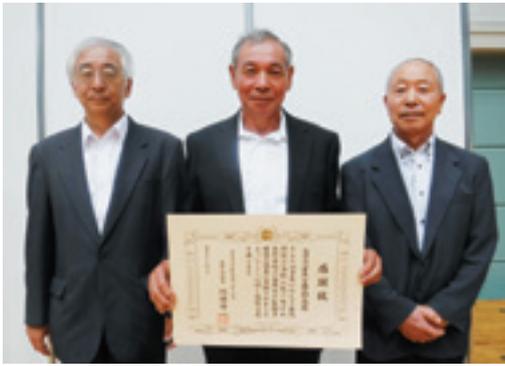
### ロングモント市とのホームステイ交流事業

茅野市の中学生8人と付添者が、7月29日(日)から8月9日(木)まで、姉妹都市交流の一環として、アメリカ合衆国コロラド州ロングモント市を訪問しました。

ロングモント市滞在中は、ロングモント市の姉妹都市、メキシコのカズマン市の学生たちとも交流し、ロッキー山脈国立公園の散策やコロラド州の州都デンバーの訪問、ロングモント市議会での英語のスピーチなど様々な体験をしました。

ホームステイ交流事業を通じて、中学生高校生は相互に友情を育み、素晴らしい人間関係を育てています。





## 里山を守り続ける

### 永明寺山ふれあいの森を創る会 知事表彰

永明寺山ふれあいの森を創る会が自然保護に関する功労があったとして知事表彰を受賞しました。表彰式は7月28日に長野市ビッグハットで開催されました。同会は永明寺山の自然保護と活用に取り組む市民の皆さんでつくります。カタクリの群生地の整備や観察会、市民や小中学生に豊かな森林環境と触れ合える機会を提供しています。これからも里山の素晴らしさを次の世代につなぐために地道な活動を続けていきます。

## 画家8人の名作が並ぶ

### 信濃美術をみつめるー描くこと この地との出会い

茅野市市制60周年を記念して、企画展「信濃美術をみつめる 描くこと この地との出会い」が7月28日(土)～9月9日(日)に茅野市美術館で開催されました。この企画展は、茅野市で生まれ育った人、蓼科高原を好んで滞在した人など、さまざまな形で地域と関わりがあった画家の作品を展示しました。

8月13日までは期間限定で東山魁夷「緑響く」も展示され、多くの人が観覧しました。



## 英語で楽しむ一泊二日

### 小学生イングリッシュキャンプ

8月2日・3日、茅野市青少年自然の森にて小学生イングリッシュキャンプが初めて行われました。市内の小学生42人が参加し、1泊2日の英語を使った様々な企画を通じて英語と親しみました。

オリエンテーションでは魔女に捉われた王様一家を助け出すという設定で、門番役の4人の外国人講師が出題するクイズに解答しました。参加した子どもたちは学校を超えて交流しながら、キャンプを楽しんでいました。

## 10年前からのメッセージ

### タイムカプセル開封式

8月8日、運動公園時計台に収蔵されていた段ボール箱14箱分のタイムカプセルが、関係者が見守る中、開封されました。

このタイムカプセルは、10年前の市制施行50周年を記念して収めたものです。この中には、当時の小学生と中学生が10年後の自分に宛てた手紙が入っており、開封後、郵便で本人に届けられました。他にも50周年記念のアルバム、DVD、新聞記事など約100点が入っており、これらの資料は「思い出のタイムカプセル展」として市役所1階ロビーに一般公開されました。



茅野市インターネット動画番組サイト「ビーナネットChino」では茅野市の生活や文化・魅力を動画で配信しています。

フォトニュースの出来事も一部配信中です。

写真内のQRコードから動画をお楽しみください。